

図書委員のおすすめの本！



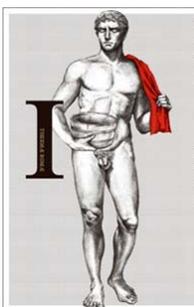
「天地明察」 沖方 丁

江戸、四代将軍家綱の御代。あるプロジェクトが立ち上がった即ち、日本独自の太陰暦 を作り上げること。日本文化を変えた大いなる計画を、個の成長物語としてみずみ ずしくも重厚に描く傑作時代小説！！



「下町ロケット」 池井戸潤

研究者の道をあきらめ、家業の町工場・ 佃製作所を継いだ佃航平は、製品開発で業績を伸ばしていた。ある日、国産ロケットを開発する巨大企業・帝国重工が、佃製作所が有するある部品の特許技術に食指を伸ばしてきた。だが、その技術には、佃の夢が詰まっていた――。



「テルマエロマエ」 ヤマザキマリ

古代ローマ人のルシウスが現代にタイムスリップしてしまう。その先にあるものとは！アニメ、映画化された大人気作！ぜひ読んでみてください。



「全国アホ・バカ分布考
はるかなる言葉の旅路」
松本修

アホとバカの境界は？
素朴な疑問に端を発し、全国市町村への取材、古辞書類の渉猟を経て方言地図完成までを描くドキュメント。

先生にインタビュー～～！

伊藤徳洋先生（(英語科)）に聞きました。

Q1 伊藤先生のお気に入りの本を教えてください。

「砂の女」 安部公房



Q2 その本を選んだ理由は何ですか。

学生時代に読んだ本です。ストーリーの面白さとその背後にあるテーマの大きさに感動し、私の生き方に大きな影響を与えました。今年、数十年ぶりにまた読んでみました。いろいろな意味で、私もずいぶん年を取ったなと思いました。

Q3 日立北の生徒に一言お願いします。

「若者は努力しなくても若者でいられるが、大人は努力しなければ大人にはなれない。」
という、生きていくことは容易なことではありません。今はやるべきことをしっかりやって、充実した高校生活を送ってください。

秋の夜長 お気に入りの本と出会いませんか？ 今月の新しい本の紹介

「野球人は1年ごとに若返る」 長嶋茂雄
「憲法と民主主義の論じ方」 長谷部恭男 杉田敦
「植物は<知性>を持っている」

ステファノ・マンクーゾ アレッサンドラ・ヴィオラ

「アメリカの排日運動と日米関係」 簗原俊洋

「母と暮らせば」 山田洋次

「おもしろいほどよくわかる高校数学 関数編」宮本次郎

「江戸のバロック」 谷川 渥

「世界一清潔な空港の清掃人」 新津春子

「オーロラ」 佐藤 博厚

「私のフルトヴェングラー」 宇野功芳

「ビゴーを読む」 清水勲

「貧困からの大脱出 ディートンの経済理論」大谷 清文

「戦争孤児」 本庄豊

「初めての弓道」 松尾牧則

「だまし絵」 谷川 渥

☆広島総文祭(文芸部門)に行ってきました！

2年5組 高野琴音

ぎこちない笑顔もいつかアルバムの

ページの隅で輝くだろう

偽りの笑顔に笑い返す朝

私は少し大人になった

ニセンチの前髪を切り決断す

さよなら君を慕いし心

とても素敵な短歌ですね。

